

## 【外皮性能】出窓の面積計算について

文書管理番号：1283-01

### Q. 質問

プラン図で出窓を配置した場合、外皮性能計算では出窓の面積はどのように計算されるか。

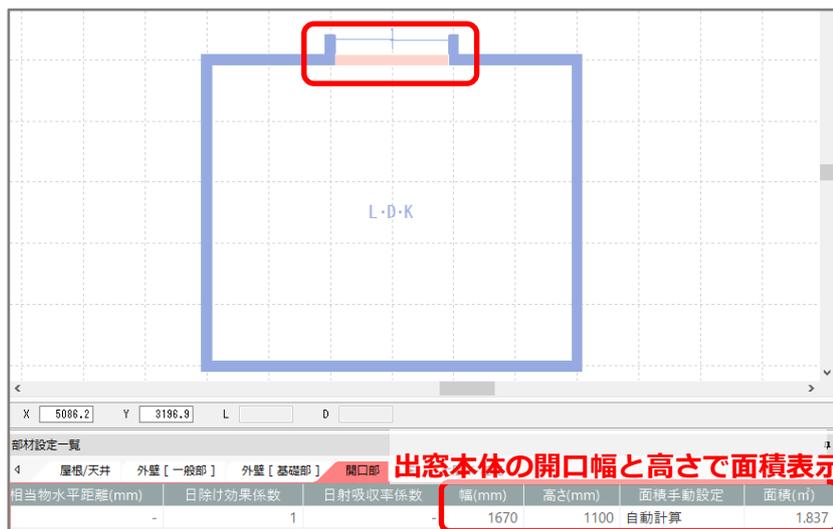
### A. 回答

 (外皮性能計算)では、 (プラン図)で配置した (出窓)の部品出窓や現場作成出窓は、出窓本来の形状ではなく、出窓の突出を無視し、出窓が配置されている躯体壁上の位置（開口位置）に窓があるものとして概略計算を行います。出窓本体の外皮面積は考慮されませんので、必要に応じて数量補正を行ってください。

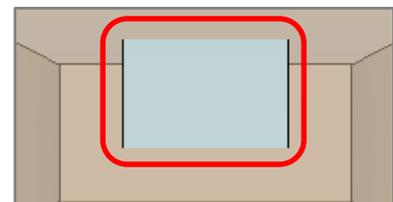
また、部品出窓・現場作成出窓ともに、窓の有無や大きさにかかわらず、外壁の開口幅と高さを出窓の開口部の面積として算出するため、必要に応じて部材設定一覧より開口面積を変更してください。

- \* 出窓の開口面積を変更する方法についてはこちらをご覧ください。

[\[1284\] 【外皮性能】開口部の面積を変更する方法](#)



**出窓本体の外皮面積は考慮せず  
外壁の開口面積で簡略計算**



**リアルタイム3Dビューア**

- \* ここでは、 (矩形出窓)を配置しています。

現場作成出窓の配置方法や、部品出窓と現場作成出窓の違いについては、こちらをご覧ください。

[\[1216\] 造作出窓（現場作成出窓）の配置方法](#)

### 【参考】

(プラン図) の (リアルタイム3Dビューア) で、現場作成出窓の壁をダブルクリックすると、出窓設定の画面が表示され、開口が確認・変更できます。開口の数値を変更した場合は出窓の形状も変わります。「開口」は外皮性能計算の開口部の高さに反映します



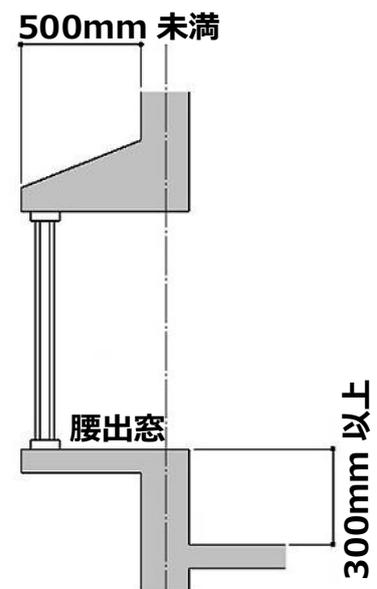
(リアルタイム3Dビューア) で出窓部品をダブルクリックすると、付属品設定の画面が表示され、出窓部品の上端高さの確認・変更、建具高さを確認できます。出窓部品の高さは部品ごとに固定のため変更はできません。

### 【参考】外皮面積における出窓の規定

外皮面積における出窓の規定では、床面からの高さが 300mm 以上で、かつ壁面からの突出が 500mm 未満の腰出窓の場合は、建築基準法に準じ、突出していないものとして計算できます。この場合の出寸法は、外壁芯からではなく、外壁の外面からの寸法となります。

ただし、所管行政庁によって考え方が異なる場合がありますので当該所管行政庁における算出方法に従ってください。

(参考：国立研究開発法人建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」)



\* A's (エース) では出窓本来の形状ではなく、出窓の突起を無視し出窓が配置されている躯体壁上の位置（開口位置）に窓があるものとして、概略計算を行います。